

肺の生活習慣病…COPDが増えています

COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、長期間の喫煙などによって気管支や肺が炎症を起こし、空気の流れが悪くなる病気です。進行するととちよつとした動作で息切れがしたり、咳や痰が続いたりして、日常生活がままならなくなります。

日本には530万人以上の患者がいると推定されていますが、本人も気付かないまま重症になっている場合が多い病気です。



正しい診断・治療を受けましょう

COPDは咳や痰、息切れなどのありふれた症状で始まり、異常を感じた時には重症化していることが多いため、できるだけ早く、正しい診断・治療を受けることが重要です。気になる症状がある人は肺の機能検査のために呼吸器科を受診しましょう。

保健福祉局健康推進課 ☎582・2018
原因の9割はたばこです

喫煙者の約2割がCOPDにかかるというデータもあり、特に10年以上喫煙している人、1日何十本も吸うヘビースモーカーは、さらにリスクが高くなるといわれています。COPDは一度進行すると完全に治ることはありません。COPDを防ぐには、たばこをやめて肺機能の低下を防ぐことが何より重要です。



▲詳細はコチラ

冬季に流行する感染症に注意しましょう

インフルエンザ・新型コロナウイルス

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」「換気」などが有効です。

- 予防接種には、入院や死亡などの重症化を予防する効果が認められています。
- 発熱などの症状があるときは、かかりつけ医にご相談ください。
- かかりつけ医では検査できない場合や、受診先が見つからない場合などは、左記へご相談ください。

福岡県救急医療電話相談 ☎7119 (24時間対応)
福岡県小児救急医療電話相談 ☎8000

※医療機関へは、電話をしてから受診するようになしてください。

ノロウイルス

問 保健所保健企画課 ☎522・5721

ノロウイルスは感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすいため、予防対策を徹底しましょう。

- 調理時や食事前、トイレ後は流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- 特にノロウイルスが流行している時期は、二枚貝の生食は避け、中心部まで十分加熱して食べるようにしましょう。
- 下痢やおう吐などの症状がある人は、食品を直接扱う作業をしないようにしましょう。また、脱水症状を防ぐため、こまめに水分補給をしましょう。

● 患者に接する人は、患者のふん便や吐物を次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）を使って処理し、感染を広げないようにしましょう。



▲処理方法の詳細はコチラ

市政フラッシュ

このコーナーでは、北九州市の最新の取り組みや話題の出来事などをご紹介します。

市役所本庁舎に食堂がオープンしました！

昨年2月に閉店した市役所本庁舎地下1階の食堂が、新たな事業者を迎え「北九州食堂」としてオープンしました。

カフェをイメージした、落ち着いた雰囲気の店内では、北九州で人気の「ごぼう天うどん」をはじめとしたうどんやカレー、定食など、およそ20種類のメニューが提供されています。また、今後は「ぬか炊き」などの地域グルメも登場予定です。



市職員だけでなく市民や観光客など、どなたでも利用できます。ぜひ気軽にお越しください！

問 総務市民局給与課 ☎582・2222

営業日 月～金曜日（祝・休日、年末年始は除く）
営業時間 11～15時



カーブミラーの健全度診断にAIを活用します！

北九州市は今年7月、行政運営の高度化・効率化、社会課題の解決、さらには市民サービスの向上や地域産業の活性化を図るために、全庁的にAIを徹底活用する「AI活用推進都市」宣言を行いました。

第1弾の取り組みとして、全国で初めて、カーブミラーの健全度をAIで診断するシステムの本格運用を始めました。スマートフォンでカーブミラーを撮影するだけで、AIが健全度を診断し結果を自動登録するもので、市内約1万カ所のカーブミラーが対象になります。これにより、熟練技術者と同水準の点検精度を安定的に確保した上で、作業時間と費用を約半分に削減できました。



▲スマホを使ってカーブミラーを撮影し、診断をしている様子

問 都市整備局道路維持課 ☎582・2274

